

<麻薬小売業者の届(年間届)の記載例及び記載上の注意>

令和 7 年 麻 薬 小 売 業 者 の 届

荒川区保健所長

届出日を記載します。

令和 〇 年 〇 月 〇 日

免許証の番号 〇〇荒健衛 第 〇〇 号

麻薬小売業者免許証どおりに記入してください。

開設者氏名 〇〇株式会社

開設者の氏名を記入してください。
管理者氏名ではありません。

麻薬業務所(薬局)の所在地 東京都荒川区 〇〇 一丁目 2 番 3 号

麻薬業務所(薬局)の名称 〇〇薬局

前年の 9 月 30 日現在と同じ数量となります。
新規で免許を取得した場合は、日付を免許日に訂正して記入してください。

電話 0 3 (〇 〇 〇 〇) 1 2 3 4

品 名	単 位	令和 6 年10月1日 現在麻薬所有数量	令和 6 年 10 月 1 日から令和 7 年 9 月 30 日までの譲受及び譲渡麻薬		令和 7 年 9 月 30 日 現在麻薬所有数量	備 考
			譲受麻薬数量	譲渡麻薬数量		
リン酸コデイン末	g	5 . 0	5 0 . 0	3 0 . 0	2 5 . 0	10%散に予製
10%リン酸コデイン末	g	1 0 . 0	3 0 0 . 0	2 9 0 . 0	2 0 . 0	原末から予製
塩酸モルヒネ	g	2 . 0	0	0	0	(イ) 2 g 廃棄 年8月8日
MS コンチン錠 1 0 mg	T	2 2 0	4 0 0	5 1 7	1 0 3	
MS コンチン錠 30m g	T	6 0	1 0 0	8 2	7 7	(ロ) 1錠所在不明
アンペック坐剤 1 0 m g	個	1 2	5 0 (8)	4 2 (1 0)	2 0	
アヘンチンキ	m L	7 . 0	5 0 . 0	4 7 . 5	7 . 5	(ハ) - 2 . 0 mL帳簿訂正
		以下 余白				

届出期間中に麻薬を所有していなかった場合は、「所有なし」と記載して届け出てください。

麻薬小売業者間譲渡の許可のある麻薬小売業者は、品名ごとに許可業者間での譲渡、譲受の数量の合計数を内数として括弧書きで併記してください。

・「品名」欄は略名を使用しないでください。また、原末から倍散、倍液を調製したときは、剤型・濃度別に記入してください。

・「単位」欄は、次の例を参考に、数量の特定が可能なものを記載してください。

例：原末・散剤... g、mg 錠剤...錠、T カプセル剤... c a p、c p 分包製剤...包

坐剤...個 貼付剤...枚 チンキ剤・液剤...m L 注射剤(アンプル)... A 注射剤(シリンジ)...本
注射剤(バイアル)... V、m L

・「備考」欄は、次のように記載してください。

(イ)「麻薬廃棄届」により廃棄した麻薬の数量及び届出年月日

(ロ)「麻薬事故届」により届け出た麻薬の数量

(ハ) その他(帳簿訂正により処理した数量など)

なお、調剤済麻薬廃棄届により廃棄した数量は記載する必要はありません。

・麻薬小売業者間譲渡許可に基づいて譲渡・譲受した麻薬の数量は、内数として括弧書きで併記してください。

・廃棄のため、患者等から譲り受けた麻薬の数量の記載は必要ありません。

・該当期間中に麻薬を所有しなかった場合も、「所有なし」と記載して届け出てください。